



四国がんセンター
呼吸器科



DOC（60）療法を受けられる方へ

さま

主治医

受け持ち看護師

私たち医療スタッフは

- I. 化学療法に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いします
- II. 治療後の苦痛や副作用を最小限にし、順調に回復され安心して退院を迎えられるようにお手伝いします

化学療法を受けられる方へ

化学療法とは

「抗がん剤を使って、病巣や目に見えない全身のがん細胞を攻撃しておさえる方法」です

3～4週間に1回のペースで点滴を行います

初回（1クール目）は入院で点滴を行い、2クール目からは外来で行う予定です

点滴の時間は1時間30分程度の予定です

抗がん剤の投与時期や量は、患者さんの体調や検査結果によって変更されることもあります

※治療前には血液検査を必ず行います

治療前の歯科受診について

- ◆治療時に起こる口のトラブルを予防し治療が円滑に進むように、治療開始前の歯科診察を行っています
- ◆治療前の歯科受診では、以下を行います
 - ・レントゲン検査・診察（口腔内の状態を診る）
 - ・歯ブラシだけではとれない細菌の除去
 - ・適切なセルフケア（歯磨き、うがい）指導
- ◆通常1～2回の受診で終わることが出来ます

口の中はとても細菌の多い場所です

治療中や治療後にその細菌が悪影響を及ぼすことがあります

特に、治療後の口内炎・肺炎等を防ぐには治療前から口の中をきれいにし細菌をできるだけ減らしておくことが有効です



排便について

普段からご自身の便の性状を確認し、入院中に排便調整の目安や方法を医療スタッフと一緒に確認しておきましょう

排便回数が4回以上増えたとき、下記の表の6（泥状便）～7（水様便）の排便が続くとき、周期的に腹痛があるときはすぐに医療スタッフに伝えましょう

3日以上排便がない、いきまないと便が出ない、便は毎日出ているがすっきりしない腹部膨満感などの症状があるときは、排便回数や性状によって緩下剤を使用します

※排便の状況や下痢・便秘の辛さは人によって違います

※排便のコントロールが難しい場合は看護師と解決方法を相談しましょう

便の性状について（ブリストルスケール）

ブリストルスケールは、便のタイプ（硬さ）を7種類に分類した世界共通の尺度です
自分の便のタイプを知り、排便調整の参考にしましょう

1	コロコロ便		硬くてコロコロの 糞糞状の便
2	硬い便		ソーセージ状であるが 硬い便
3	やや硬い便		表面にひび割れのある ソーセージ状の便
4	普通便		表面がなめらかで柔らかい ソーセージ状、あるいは 蛇のようなとぐろを巻く便
5	やや軟らかい便		はっきりとしたしわのある 柔らかい半分固形の便
6	泥状便		境界がほぐれて、ふにゃふにゃの不定形の 小片便 泥状の便
7	水様便		水様で、固形物を含まない 液体状の便

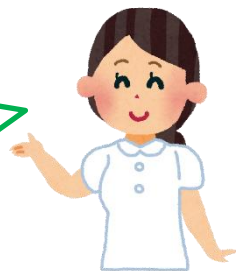
入院中の生活の注意点

- ◆治療中は免疫力低下のため、感染リスクが高くなります
マスクの着用、手洗い・うがいをしましょう
入院中、手洗いの動画をテレビの無料チャンネルで視聴できます
- ◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりととりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まったままの状態は、腎臓や膀胱に負担がかかり炎症を起こすことがあります
尿意を感じたら、我慢をしないでトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください
- ◆正しく安全に点滴を投与するために輸液ポンプを使用します
 - ・点滴が入っている部位を曲げたり、ねじったり、また、点滴チューブをひっぱったりしないようにしてください
 - ・歩行時は、点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります
点滴台は、支えにしないようにしましょう



こんなときは看護師にお知らせください

- ＊輸液ポンプを使用しているときに機器のアラーム音が鳴ったとき
- ＊点滴が入っている部位に違和感や痛みを感じたり、腫れてきたとき



- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます
尿や便に直接触れても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

- ・男性の方は飛び散り防止のため、**座って排尿しましょう**



- ・尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう
2度拭き取ると良いでしょう



- ・トイレの後、フタがある場合は、**フタをして水を2回流しましょう**

- ・ナプキンや尿とりパッドを使用している場合は、看護師にお知らせください
 - ＊使用済みのナプキンや尿とりパッドは、ナイロン袋に入れて口を結びましょう
 - ＊トイレからナースコールを押して、看護師に渡しましょう

- ・トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- ・尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院は約2週間の予定です

治療後の回復は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります、その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活が不安なく送れるように支援させていただきます





今日の目標

- ・治療の必要性、副作用について理解できる
- ・医療スタッフの説明が理解できる

<時間>

<予定>

11:00

入院

【入院後に以下のことを予定しています】

- ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください）
- ・検温、血圧測定、身体測定
- ・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り
- ・禁煙の確認
- ・歯科受診
- ・血液検査、尿検査
- ・医師、薬剤師より抗がん剤治療の説明があります
- ・サインをした同意書は看護師にお渡しください
- ・初回治療のときは、管理栄養士より病院食や食事の工夫について説明があります
- 2回目以降、味覚障害や食欲不振等がある場合、栄養指導を希望される場合は、お知らせください

治療の流れや注意事項、副作用や対策について説明します
過敏症、点滴部位の痛み・血管痛について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照

わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください



<お薬>

- ・他の病院で処方された薬は、一度お預かりします
医師に確認後、続けるか中止するかをお伝えします

18:00

夕食

<食事>

- ・食物アレルギーのある方は、医療スタッフにお知らせください
- ・基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食になる場合があります

21:30

消灯

医療スタッフの目標

- ・安心して治療が受けられるように支援します





今日の目標

- 安全に治療を受けることができる
- 治療の副作用について理解できる

<時間>

<予定>

6:00 起床
検温、血圧測定

7:30 朝食

吐き気・嘔吐、味覚障害・食欲不振、倦怠感について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照

12:00 昼食

※治療の予定については服薬指導の紙をご覧ください

18:00 夕食

19:00 検温、血圧測定

21:30 消灯



点滴開始後はフタをして
水を2回流しましょう

- 点滴中は、トイレなどの歩行時、転倒に注意しましょう
- 点滴台を支えにして歩くと転倒の可能性があります
支えにしないようにしましょう

- 点滴中は、副作用を早期に発見するために付き添ったり、頻回に訪室します
- 息が苦しい、咳が出る、ドキドキする、体が熱いときなどは、すぐに知らせてください
- 針の入っているところが赤くなった、腫れた、痛いときなどはすぐに看護師へ知らせてください
- 点滴のもれを防ぐために看護師が身の回りのことをお手伝いします

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- ・治療の副作用について理解できる
- ・副作用症状のコントロールができる

<時間>

<予定>

6:00 起床

7:30 朝食

10:00 検温、血圧測定

治療2日目：便秘、下痢

治療3日目：口内炎、神経障害、皮膚障害、爪のトラブル
について説明します

「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照

「がん治療による爪のトラブルについて」パンフレット参照

12:00 昼食

- ・針の入っていたところが赤くなった、腫れた、痛いときなどは
すぐに看護師へ知らせてください
- ・便が出にくいときは、緩下剤を調節しながら服用しましょう

活動の制限はありません
シャワー浴ができます

18:00 夕食

フタをして水を
2回流しましょう

21:30 消灯

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます





今日の目標

- ・治療の副作用について理解できる
- ・副作用症状のコントロールができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食

10:00

検温、血圧測定

12:00

昼食

便が出にくいときは、
緩下剤を調節しながら
服用しましょう

治療4日目：骨髄毒性、関節痛・筋肉痛

治療5日目：肺障害、息切れ・動悸

治療6日目：脱毛

治療7日目：腎機能障害、浮腫

について説明します

「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照

「関節痛・筋肉痛」ページ参照

「がん治療による脱毛に備えて（頭髮編）」パンフレット参照

活動の制限はありません
シャワー浴ができます



18:00

夕食

21:30

消灯

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます





今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・副作用症状のコントロールができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食

便が出にくいときは、
緩下剤を調節しながら
服用しましょう

9:30

血液検査・胸部レントゲン検査

10:00

検温、血圧測定

感染予防のために手洗い・うがいは
しっかりしましょう

12:00

昼食

血液検査の結果について説明します

活動の制限はありません
シャワー浴ができます



18:00

夕食

21:30

消灯

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます
- ・退院の準備をすすめられるように支援します



退院準備期

治療9日目～14日目

月

日～

月

日



今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・副作用症状のコントロールができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食

9:30

血液検査・レントゲン検査（治療14日目）

10:00

検温、血圧測定

通院治療室についての説明と見学を行います
「外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ」ページ参照
退院後の日常生活について説明をします
「退院後の日常生活について」ページ参照

12:00

昼食

活動の制限はありません
シャワー浴ができます



18:00

夕食

感染予防のために手洗い・うがいは
しっかりしましょう

21:30

消灯

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます
- ・退院の準備をすすめられるように支援します



退院日 月 日



今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

7:30

朝食

お預かりしている薬がある場合はお渡しします
次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院
退院前に忘れ物がないようにご確認ください
「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので
2階医事受付窓口でお支払ください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活に不安や心配ごとがないように支援します





ウィッグ以外にも
お役立ち製品が色々♪



メイク ネイル用品

ウィッグ 帽子 ヘア用品 ネックカバーなど



治療によって脱毛・肌や爪のトラブルが起こる可能性がある方に、上記展示品の案内や試着を行っています

お住まいの自治体によっては、治療に伴うウィッグに関する助成制度を設けています
詳しくは、本館2階『がん相談支援センター』でご相談ください

※暖だんでの販売は行っておりません

気になる製品については購入方法をお伝えしています



● 関節痛・筋肉痛

ドセタキセルの特徴的な副作用です

1. 定義

筋肉や関節に痛みが生じることをいいます

2. 筋肉痛・関節痛の時期

投与後3～5日後に症状が現れ、症状のほとんどが一時的なもので、数日以内におさまってきます

3. 症状

腰や腕、背中や肩の筋肉に痛みを感じたり、ひざ・ひじの 関節などに痛みを感じる場合があります

4. 治療方法

つらいと感じるときは、痛み止めの薬（内服や湿布）を使用して症状の軽減をはかります

5. 予防方法（日常生活の注意点）

- 入浴などで体を温めたり、適度なマッサージで筋肉をほぐし、血行を促進してみましょう
- 同じ姿勢でいると筋肉や骨の萎縮をまねきやすいので、無理のない適度な運動を心がけると良いでしょう



外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ

通院治療の流れ

① 受付



B受付

② 採血
中央処置室



☆採血時のお願い☆

採血時に注意することは退院前に確認しておきましょう
点滴予定の腕とは反対の腕で採血しましょう



採血結果が出るまで、
約30分～1時間かかります

③ 診察受付

A受付

B受付

C受付

S受付

呼吸器科
消化器科
緩和ケア
感染症腫瘍内科
骨軟部腫瘍・整形外科
禁煙外来

泌尿器科
血液腫瘍内科
原発不明がん診療科

④ 診察

乳腺外科
婦人科
形成外科
頭頸科・甲状腺腫瘍外科
歯科
病理診断科

消化器内科
糖尿病内科
内分泌内科
循環器内科
皮膚科
眼科
精神科
脳神経外科
リンパ浮腫
がんゲノム医療外来

治療決定

S受付

⑤ 治療
通院治療室

看護師が点滴の針を刺し、
確認後に抗がん剤を開始します

治療終了

検査や他の診療科で診察のある方は、各受付へ

検査の説明を受ける方は、予約センターへ

⑥ 会計

処方箋もすべてファイルに入れたまま総合受付 **6番窓口** に提出してください。

***お薬の処方がある方へ**

6番窓口で処方箋をお渡しします。4日以内にお薬をお受け取りください。

予約センターは
B受付の隣です



通院治療室での過ごし方

- 外来で初めて治療を受ける方は、説明と確認を行うため、少し時間がかかります。
- 入室時に、ベッドか椅子を選択できますが、混雑時にはご希望に添えないこともあります。
- テレビは無料で利用できます。ラジオや音楽プレイヤー等の持ち込みも可能です。ご利用される場合にはイヤホンをご用意ください。
- 携帯電話はマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
- 通院治療室内での飲食は可能ですが、においの強いものはご遠慮ください。飲食される方は、各自でご準備ください。
- トイレは通院治療室内のトイレをご使用ください。男女兼用ですが、3か所あります。
- 付き添いは原則ご遠慮いただいております。ご家族の待機場所として「暖だん」や「図書コーナー」などがあります。
- 副作用や日常生活で困っていることや相談したいことがあれば、いつでもスタッフに声をおかけください。



退院後の日常生活について

●食事

特に制限はありません

バランスの良い食事を心がけましょう

食欲がないときは、無理をせず、食べやすいものを食べられるときにとるようにしましょう



白血球が減少している時期は、残り物、賞味期限切れの物を召し上がらないようにご注意ください

●お薬

医師の指示どおりに服用しましょう



●活動

特に制限はありません

白血球が減少している期間は、風邪をひきやすかったり熱が出やすいため、外出時マスクを着用しましょう

外出や買い物は比較的人ごみの少ない朝の早い時間をお勧めします

●清潔

皮膚に付着している常在菌を減らすために、可能な限り毎日入浴やシャワー浴をして体を清潔にしておきましょう

（ただし、発熱時やだるさが強い場合は控え、温かいタオルなどで体を拭くようにしましょう）

うがい・歯磨きをして口の中を清潔に保ちましょう

歯ぐきの傷つきを防止するため、歯ブラシは小さく毛の柔らかいものを使いましょう

●排泄

規則的な排便習慣を身につけるようにしましょう

便秘のときは処方便秘薬を調整して服用してください

処方されていないときは市販便秘薬を服用してもかまいません

（下痢になったら下剤は中止しましょう）

下痢のときは市販の整腸剤を服用してもかまいません

●その他

外来受診は、必ず受けるようにしましょう

外見の変化（脱毛、爪、皮膚のくすみなど）に関して気になることがあれば

患者・家族総合支援センター「暖だん」で情報をご用意していますので

お気軽にお立ち寄りください

ドセタキセル投与後、皮膚のかゆみや湿疹が出ることがあります

かゆみや赤みが強いときは近くの皮膚科を受診するか、がん相談支援センターに

ご相談ください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう



- 37.5℃以上の発熱が続いて、体がしんどいとき
- 食事や水分が、ほとんどとれなくなったとき
- 息苦しさや咳が続くとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8：30～17：15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更
【平日】 13：00～17：00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



DOC（60）療法を受けられる方へ